

トヨタ、スープラをフルモデルチェンジ

—— 操る楽しさと 安全・環境への徹底した取り組み ——

トヨタ自動車㈱は、スープラをフルモデルチェンジし、5月24日、全国のトヨタカローラ店を通じて一斉に発売した。

新型スープラは、スポーツカーが持つ、操る楽しさを実感できる「パフォーマンス」と、安全・環境への対応そして快適性、すなわち「優しさ」を極限にまで高めた、新しいスポーツカー像を提案するクルマ—THE SPORTS OF TOYOTA—である。

開発の狙いは次の2点。

1. 新しいスポーツカー「パフォーマンス」の実現
2. 人、そして社会を大切に考える「優しさ」の具現化

- (1)安全の追求
- (2)環境への配慮
- (3)快適の追求



スープラ GZ [E-JZA80-ALPZZ]

【車両概要】

1. スポーツカーパフォーマンスの実現

新型スープラは、基本コンポーネントの徹底的な磨き上げにより、各々の能力を余すことなく引き出した上、高次元でバランスさせ、ドライバーの意思に機敏に呼応する新しいパフォーマンスを実現している。

(1) デザイン

- ・全長4,520mm、全幅1,810mm、全高1,275mmのサイズを採用した、2 プラス 2 、2 ドアリフトバック（エアロトップをS Z、G Zグレードに設定）
- ・フロントアクティブスポイラー（ターボ仕様車に標準またはオプション設定）やリヤ大型スポイラー（全車にオプション設定）の装着

＜特長＞・張りつめた筋肉と骨格を思わせるダイナミックな低重心スタイル
・前後のダウンフォースの確保（CL値フロント＝－0.01 リヤ＝－0.03）による卓越した安定性と、低いCD値（0.30）による優れた走行性能の両立

(2) シャシー・ボデー

- ・最新の設計技術と、走りを評価するクラフトマンシップにより、基本構造を徹底的に磨き上げた、新設計の4輪ダブルウィッシュボーン サスペンション
- ・ツインピストン キャリパーを採用した、新設計の大容量16インチ ベンチレーテッドディスクブレーキ
- ・フロント225／50ZR16、リヤ245／50ZR16の前後異サイズタイヤ（ターボ仕様車）
- ・ビルシュタイン社（ドイツ）製ショックアブソーバー（R Zグレード）
- ・FEM（有限要素法）を駆使し、構造を最適化した軽量・高剛性ボデー
- ・エンジンフード、エアロトップのアルミ化等、積極的に軽量素材を採用し、大幅な軽量化を実施

＜特長＞・ドライバーの意思にリニアに反応する操縦性能、制動性能
・あらゆる走行状況下での、4輪の安定した接地性能

(3) パワートレイン

- ・直列6気筒3ℓ、自然吸気エンジン 2 J Z－G E型
- ・直列6気筒3ℓ、ツウウェイ ツインターボエンジン 2 J Z－G T E型
- ・スロットルバルブの開度を電子制御するE T C S〔Electronic Throttle Control System〕（ターボ仕様車）

- ・ゲトラーク社（ドイツ）と共同開発の6速マニュアルトランスミッション（RZグレードに設定）
- ・インテリジェントスポーツ オートマチックトランスミッション [ECT-iS]（ターボ仕様車に設定）

エンジン型式	最高出力 (PS/rpm)	最大トルク (kg・m/rpm)	10・15 モード燃費 (km/ℓ)	
			マニュアル車	オートマチック車
2 J Z - G E 型	225/6,000	29.0/4,800	8.9	8.6
2 J Z - G T E 型	280/5,600	44.0/3,600	8.2	7.6

- ＜特長＞
- ・力強く、リニアな加速性能と優れた燃費性能
 - ・ETCSによる全運転領域にわたる良好なアクセルコントロール性
 - ・操る楽しさを一段と高めるシフト操作性
 - ・優れた変速応答性による機敏な走り（ECT-iS仕様車）

2. 優しさの具現化

新しいスポーツカーに求められる、人、そして社会を大切に考えた優しさの実現に、安全、環境、快適の3点から取り組み、まず予防安全と衝突安全の両面からの徹底的な安全追求、ならびに様々な観点からの環境対策を実施するとともに、心地よく疲労の少ない室内空間の創出を図っている。

(1) 安全

① 予防安全

▷ 高い操縦性・走行安定性

- ・ドライバーの意思に忠実に応える運動性能の実現
- ・路面状況に応じてアクセル特性を変化させ、駆動力の調整をしやすくし、発進、加速時のタイヤの空転を制御する新開発のスリップコントロール（ターボ仕様車に標準装備）の採用
- ・横Gセンサー付4輪ABS（全車に標準またはオプション設定）、“トルセン” LSD（全車に標準またはオプション設定）の採用等

▷ 良好な視界

- ・配光性能に優れたヘッドランプ、高速走行時の浮きを抑えたフィン一体型のワイパーの採用等

▷優れた後方からの被視認性

- ・ハイマウントストップランプの採用、およびブレーキ、ターンシグナル等を機能別に独立配置したリヤコンビネーションランプの採用等

②衝突安全

▷万一の衝突時における乗員保護

- ・合理的な衝撃吸収ボデー構造 $\text{C I A S}^{\text{サイアス}}$ (Crash Impact Absorbing Structure)をはじめ、運転席 S R S エアバッグ (全車に標準またはオプション設定)、助手席 S R S エアバッグ (全車にオプション設定)、サイドドアビーム等を採用

(2)環 境

▷省資源、省エネルギー

- ・各部品の設計、製造法を最適化するとともに、高張力鋼板、軽量素材の効果的使用により、最大100kgの軽量化 (従来比) を実現
- ・エンジン、駆動系の改良も相まってクラストップ水準の燃費を達成

▷リサイクルへの取り組み

- ・熱可塑性樹脂を積極的に採用した他、単一部品での金属と樹脂の複合構成はできるだけ避け、リサイクル時の分別に配慮
- ・工程内で発生する樹脂端材等のリサイクルを推進するとともに、リサイクル時の樹脂材質識別に役立つ国際基準に基づくマーキングを実施

▷オゾン層保護

- ・全車に標準装備したオートエアコンには全て新冷媒 (R134a) を採用

(3)快 適

▷静粛でフラットな乗り心地

- ・ボデーの高剛性化、広いねじれ角を持つフライホイールダンパーの採用等により振動・騒音を低いレベルに抑えるとともに、サスペンションの一新等によりフラットな乗り心地を実現

▷エルゴノミクス (人間工学) に基づいたスポーツマインドあふれる室内空間

- ・インテリアはエルゴノミクスを駆使してメーター、スイッチ類や操作系を設計・配置し、運転中の視線移動を少なくするとともに、優れた操作性を実現
- ・ドライバーを包みこむコクピットタイプのインストルメントパネルとバケットシートが、心地よい適度な緊張感を創出

【販売概要】

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 販 売 店 | 全国のトヨタカローラ店 |
| 2. 月販目標台数 | 1,000 台 |
| 3. 店頭発表会 | 6月5日(土)、6日(日) |

【東京地区メーカー希望小売価格帯】

2,900千円～4,720千円

【グレード構成・メーカー希望小売価格】

- ・S Zグレード：優れたパフォーマンスを持つ自然吸気エンジン搭載グレード
- ・R Zグレード：ターボエンジンを搭載した、6速マニュアルトランスミッションも選択できるスポーティグレード
- ・G Zグレード：本革シートはじめ、装備を充実させた、ターボエンジン搭載の最高級グレード

(消費税は含まず 単位：千円)

エンジン	吸 気	グレード	トランスミッション	東 京	名古屋	大 阪
2 J Z - G E 型	自 然 吸 気	S Z	5速マニュアル	2,900	2,895	2,900
			E C T - S	3,000	2,995	3,000
		S Z エアロトップ仕様車	E C T - S	3,170	3,165	3,170
2 J Z - G T E 型	ターボ	R Z	6速マニュアル	4,230	4,225	4,230
			E C T - i S	3,980	3,975	3,980
		G Z	E C T - i S	4,550	4,545	4,550
		G Z エアロトップ仕様車	E C T - i S	4,720	4,715	4,720

◎掲載写真

注) E C T - S : 電子制御式4速オートマチック

E C T - i S : 電子制御式4速オートマチック(インテリジェントスポーツ)

以 上